

2019年4月15日
社会福祉法人 向日春秋会
理事長 中野 種樹

謹啓

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

各種報道で既にご案内の通り、昨年10月10日元職員が、ご利用者への暴行の疑いにより逮捕され、同月31日に処分保留で釈放されておりましたが、本年4月12日に不起訴処分となりました。本件に関してご遺族様はもとより、ご利用者、ご家族および全ての関係者の皆さまに多大なご心痛をおかけしましたことに深くお詫び申し上げます。

当初からの主張通り、元職員の人柄や勤務態度などから暴行の事実はなく、逮捕自体が不当であり、今回の不起訴処分は当然で、これだけ時間を要したことにも強い憤りを感じています。また、一部新聞によれば、10年間寝たきりで骨が折れやすい状況であり、慎重な捜査が必要であったとの地検関係者のコメント報道もあり、拙速な警察の判断による逮捕で、元職員と施設の信頼や名誉が大きく傷つけられました。

現在定期的に外部からの専門家によるご利用者お一人お一人の介助方法の見直しとアドバイスを受けながら、更なる介護技術の向上に取り組んでおります。今後は地道に介護サービスを通じて、失った信頼と名誉の回復に努めて参ります。私どもはそのミッションに従い、「人間の尊厳に重きをおき、心のこもった質の高いケアを提供」し、今まで以上に安心安全な介護サービスを提供してまいる所存です。

何卒今後とも変わらぬご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具